

令和元年度第4回 恵那市男女共同参画プラン推進委員会【要約】

日時：令和2年2月10日（月）午前10時00分～午前11時30分

場所：恵那市役所 西庁舎3階 災害対策室B

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事
 - (1) 女性活躍推進計画（素案）について
 - (2) 女性活躍に係る新規事業について
4. その他
5. 閉会のあいさつ

■委員

	氏名	選出団体等	出欠席
1	坪井 弥栄子	恵那市地域自治区会長会議	出席
2	伊藤 正明	「男女のわ」ネットワーク	出席
3	亀井 邦子	「男女のわ」ネットワーク	出席
4	太田 礼子	まちづくり団体（えなナリワイプロジェクト）	出席
5	村松 訓子	恵那市教育委員会	出席
6	秋山 真一	恵南商工会推薦企業（明知ガイシ株）	出席
7	奥村 ひとみ	中津川人権擁護委員協議会 恵那市地区部会	出席
8	紀岡 伸征	恵那市社会福祉協議会	出席
9	曾我 守一	恵那市PTA連合会	出席
10	伊東 靖英	恵那市壮健クラブ	出席
11	成瀬 あい	恵那市国際交流協会	出席

■オブザーバー

	氏名	選出団体等	出欠席
1	加藤 久徳	恵那くらしビジネスサポートセンター ビジネス相談専門家	欠席
2	吉田 恵	恵那公共職業安定所 管理課長	出席

1. 開会

■事務局（進行） 資料の確認をする。7点ある。会議次第、資料1-1～1-4、資料2-1、2-2。

委員が1名みえていないが、定刻となったので、令和元年度第4回恵那市男女共同参画プラン推進委員会を開会する。私は、本日司会をする企画課の柘植です。

本日は、加藤久徳オブザーバーが所用のため欠席の連絡があった。本日の会議は、恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき、公開とする。会議録も公表する。本日の委員会は11時半までに終わりたい。本日の委員会をもって任期満了を予定している。

2. 会長あいさつ

■会長 寒い中、早朝から会議に出席していただいた。本日の資料は、前回会議の委員の意見、12月のパブリックコメントを経てのものであるが、パブリックコメントは内容がすごいもので、なるほどと思うところも数点あった。市民の方から意見を頂けるのはありがたい。そうしたものを元に事務局で素案を修正してもらった。事務局の説明を受けながら素案の最終形にしていきたいと思う。

また、小泉環境大臣が育児休暇を取得されたことを最近テレビでよく見る。育児休暇自体は今ではそこまで珍しいことではないけれども、名の知れた方が取ること、今後の男性や社会全体の意識が変わるのではないかと思う。その中で、小泉大臣は、育児休暇は、仕事は休むけれど休みではない。女性が当たり前に行っている、オムツ交換、入浴などが、本当に大変なことだと自ら感じただけでも幸せであったと言っていた。ああいう方が発信してくだされば、もっと育児休暇を取る男性が出てくれるのではないかと。また、そういう人がトップにいて、その下で働いている人達も安心して育児休暇を取れるという事につながるのではないかと、まずは一つ突破口ができたという風を感じた。本日もよろしくお願いします。

■事務局（進行） 議事進行を会長にお願いする。

3. 議事

（1）女性活躍推進計画（素案）の検討

〔事務局から資料に基づき説明〕

■会長 パブリックコメントを中心に変更点を説明してもらった。まず、新旧対照表11ページの部分について、吉田アドバイザーから現状をお話していただきたい。

■吉田アドバイザー ハローワークの現状ですが、中小企業から求人の手続きにみえる方

に求職者の状況をお伝えすると、わりとすぐにそれに応じてもらえる。例えば、今は高齢の求職者が多いが、年齢不問とすると高齢の方が自分はダメだと思ってしまうので、あえて60歳以上という求人を出してもらうなど。それによって就職件数が上がっているところもある。ただし、男女雇用機会均等法の関係で、性別を指定して、例えば女性求むとして求人を出すことはできない。なので、パート求むや、学校行事時は休暇取得可能など、子育てに理解がありますという一文を入れてもらって対応している。それがもう少し増えればということだが、企業数自体がそれほど多くないので、それをやり始めると全部がそうになってしまうということもある。若い働き盛りの方が少ないという事は、企業も分かっているので、子育てに理解がある求人は増えている。とは言え、なかなか就職が決まらない求職者は、やはり小さいお子さんがいるお母さんで、求人条件が合わなくて応募できずにいる。そういう人に向けての求人を増やす取り組みは今やっているところ。

■会長 昨年10月からの保育料の無償化によって変化はあったか。勤務時間の延長は企業の中でやっていくことだが、正社員になりたいなど。

■吉田アドバイザー 無償化のあたりから、女性の求職者が増えている。ただし、その方達が正社員を求めているかという、バリバリと働きたいという方も一部みえるが、どちらかという子供との生活や家庭を第一に考えて無理のないように働きたい方が多いという印象。

■会長 今の意見を踏まえて、この部分又は全体を通して、意見はないか。

■太田委員 新旧対照表11ページに、求職者の多い求人を積極的に進めますとあるが、会社から求人が出てきてそれが求職者のニーズとマッチしないので働けないということ。求人を出している企業は人が足りないという状況があると思うが、この部分は市外から企業を誘致してくるという解釈でよいか。

■事務局 この部分については、元々、企業誘致を積極的に行うという項目があったが、誘致した企業が市民が求めている業種でないとされてきた経緯がある。今後こういった施策を進める、新たに工業団地などに市外から誘致したり、企業へ働きかけるにあたっては、求職者の多い業種をとという考え方。

■太田委員 なんでもよいということではなく、ということなら現実的でよい。

■奥村委員 パブリックコメントの一つ目の意見で、女性委員のいない審議会の歴史的風致維持向上計画の協議会に、今年、声をかけてもらって入った。私以外は全員男性という状況だが、特に委縮している気はしない。それが何故かという、大井町の歴史的風致維持の意見を求められるのだが、大井町のまちづくりの活動を実際に行っているから意見が言える。なので、女性なら誰でもいいから入ってということではなくて、実際に活動をしていることで意見が言える人を選んでいく事が大事だと感じる。

■会長 その通り。色々な審議会の委員をお願いしますと言われるが、地域で何をやって

もらっているか、地域で役員を育ててくることが一番重要。その土台の上に、市の審議会や委員会の委員になれば、自分の地域の事が頭にあるから、自信を持って、市全体の中で意見が言えるし聞ける。そういった事を、まずは、地域自治区の会長会議で言ってもらいと良いと思うが、地域でいかに女性を育ててくるかということが本当に大事である。市の審議会や委員会にも女性が入っているが、地域で活躍している人たちは会議に出てきても発言できるし、吸収も早い。PTA 代表なら自分の学校のことは自信を持って発信できる。地域や団体で多くの女性を育てていただくのが大事ではないかと常に思う。

■紀岡委員 11 ページの網掛けの少し前に「希望する働き方では、「一般従業員やパートタイマー」の割合が他県より高く…」とあるが、それ以外の内容は何か。

■事務局 資料1-3の11ページの下段の内容となり、それ以外は、「会社を経営する立場、管理職/マネジメントする立場、スペシャリスト、会社にとられない働き方」。なので、ハローワークで言われる一般従業員やパートタイマーとは違った区分で集計されている状況。

■紀岡委員 一般的に出る求人は、一般従業員とパートタイマーのこの二つなのか。

■吉田アドバイザー ハローワークでは、常用かパートタイマーと言っている。求人が根本にあるので、長時間働くか、短時間働くかの違いだけ。

■紀岡委員 そこは、単に「多くの求人があります」だけにしてはどうか。

■事務局 「ハローワーク恵那には」の後の、「一般従業員とパートタイマーともに」を削除したい。

■伊東委員 求人に60歳以上と入れることは違反にはならないのか。

■吉田アドバイザー 法律上、高齢者を排除してはいけないので、高齢者ウェルカムという求人は出せる。

■伊藤委員 どの企業も少子化の影響で働き手が少なくなってきているので、企業そのものの定年が延長になる傾向が強い。元気であれば働き続けたいというのは、男性女性に関わらず皆そうだと思う。そのような事は恵那市の人口を増やすにあたっても非常に大事な一面ではないかと常々思っているの、言葉として計画に載せるか否かは別として、そういった事も含めてやる事は良い事だと思う。

■伊東委員 市役所は定年延長になったのか。

■事務局 国の動きに合わせているのでまだなっていないが、将来的にはおそらく65歳に向かっていくのではないかと。

■伊藤委員 資料1-3の10ページの「岐阜県内市町村の女性の就業率」の中で、恵那市の女性就業率は21市中20位とあるが、新旧対照表の11ページのハローワーク恵那には多くの求人があるというところと整合が取れていないのではないかと。

■会長 女性の就業率の女性とは、就業できる年齢の女性なのか、女性全員なのか。女性

の高齢者が多い事も影響しているのか。

■事務局 15歳以上の女性全てが分母なので、高齢女性も分母に入っている。

■会長 そうすると、恵那市は高齢女性が多いので、全体としては低いかもしれない。

■成瀬委員 小学生が二人いる母親の立場からは、今出た意見を反映していただけると良い。

■秋山委員 自社の話をさせていただくと、比較的自由のきく会社で、直近の例でいくと派遣で来ていた女性から勤務時間を短くしたいという相談があり、派遣会社では週何日働くという規定があったため、会社の直接雇用で切り替えて対応した。会社としても人を集めなければならないので、勤務できる形態で融通をきかせている。

■会長 先日の会議で議論いただき、キャッチフレーズを、「生き方と働き方を誰もが選択できるまち恵那」と決めたが、働き方を型にはめずに選択できるというところで、会社がそれをやって下さるというのはすごいと思う。派遣から直接雇用にできる会社もその女性もすばらしい。そういった人達が増えてくると、派遣会社は困るかもしれないが良いと思う。

■村松委員 この会議のことを教頭先生に話したら、恵那市内の学校でも教務主任や教頭などの女性管理職は増えてきている。そういう事が道徳や総合学習の、人権や男女平等などを扱う時間の資料になると良いと言われた。その中で、新しくしようとすると、新しい言葉を取り入れたりして長くなってしまいが、できれば中学生が読んででもすんなり入ってくるように考慮してつくってもらえるとありがたい。

■会長 概要版を中学生用などにして各学校に配れるとよいかもしれない。私達にはわかるが、中学生には少し難しいかもしれないので、もう一冊中学生用にまとめることを検討していただけるとよい。そういったものを、校長会を通じて各学校に配れるとよい。

■村松委員 簡素化したものをつくっていただいて。今は各学校に配布してはいないか。

■会長 予算をつけて配布していただけるとよいので、検討していただきたい。防災訓練も今は小学生も中学生も地域へ帰って大人と一緒にやるという事になっていて、そうするとすそ野が広がる。小学生、中学生と継続的にやることで、大人になって戻ってきたときに安心して参加できるという事もあるので、小中学生のうちに頭に入れるという事は良い事だと思うが、曾我さんはいかがか。

■曾我委員 武並町でいうと、武並小学校は防災に関して力を入れていて、こども達は6年間取り組むと防災認定員がもらえる。中学校、高校へ行ったときにどうなるのかというところだが、忘れてしまっていることもあるので、繰り返しやっていくことが大事だと思う。

男女共同参画については、介護職場で看護師をやっているが、介護職の女性で一番若い方は33歳、最高齢は75歳が3名で、週5日の1日8時間勤務をしている。長く勤務して

いただいている方も多く、60歳以上が多い。男性も最高齢75歳が2名みえる。介護職場の離職率は高いが、ハローワークからよりも折込チラシで申し込まれたの方が長く続く傾向にある。その理由は、ハローワークの求人に書いてある給料が現実と合わないことによる。給料は関係ないから楽しく仕事がしたいという人が長く続いている。

■亀井委員 感想になるが、資料1-2の新旧対照表8ページの「男女平等教育などの推進」の目標数値がすごく上がっていて、それは先ほど村松委員がおっしゃったように学校教職員の女性管理職が増えてきたことも関連しているのかと納得した。

■太田委員 先ほど、概要版を中学生にという話があったが、防災と一緒に、学校で子どもと一緒に取り組むのは良いことだと思う。ただ、これが子供を通して家庭に配布されるだけになると、こういうものは学校からたくさん配られるので、親がしっかり読み込むかはあやしくて、配るだけでは製作費用がもったいないと思う。なので、学校で一緒に取り組んでもらえるのがベストだと思っていて、子どもにも親にもという方法が良いかと思う。

■会長 全校生徒に配るのではなくて、小学生なら5年生とか、中学生なら2年生とか学年を決めて配って、道徳の副読本にさせていただけるとありがたい。そうすると必ず、どのクラスもやるので。

■村松委員 恵那市がこういった事に取り組んでいるということで、授業の中で先生から話して頂くのが一番良いと思う。総合、道徳、社会科の公民などで男女平等や人権教育をしているので、地域の偉人の副読本のように、副読本として授業で取り組んでいただけるとよい。

■伊藤委員 それが発展して、家庭で子どもと親がこれを話題にして話ができれば素晴らしい。そういうことができれば、男女共同参画の土台になっていくと思う。

■会長 そういったことを念頭に置いて、今回のプラン・概要版を作ってもらい、村松教育委員から教育委員会につないでいただけるとありがたい。

■村松委員 教育委員会の会議で紹介したい。

■事務局 答申は、2月19日に会長及び副会長から市長に手渡していただきたいと思えます。なお、会長からの提案で、資料1-3の表紙に、「女性活躍推進計画」及び「女性活躍推進計画のキャッチフレーズ」を追加したい。

(2) 女性活躍に係る新規事業について

①料理人によるエーナ健幸料理教室【おとう飯編】

[事務局から資料に基づき説明]

■伊東委員 これは全国でやっているのか。

■会長 内閣府なので全国的に取り組んでいること。

■事務局 ぜひ取り組んで下さいという依頼がある。専用のウェブサイトもあり、実施内容などを掲載してPRもしてもらえる。

■会長 健幸推進課とタイアップで取り組んでいけるという事なので、ちょうど良いと思う。計画は進めてよいか。

■全委員 良い。

②バロー恵那ショッピングセンターでの行政サービス

[事務局から資料に基づき説明]

■亀井委員 この内容は4月1日号広報に掲載するのか。

■事務局 掲載するように進めている。

■伊東委員 職員は常時いるのか。

■事務局 常時2名体制を予定している。

■会長 今は住民票や印鑑証明をとりに文化センターまで行かなければならない。高齢者は文化センターであってもバスに乗らないといけない人もいて、街の中にあることはありがたいと思う。

■紀岡委員 高校生の居場所づくりが課題という事を伺った事がある。せっかく拠点ができるのでそういった方向へ拡大していくという考えがあるか伺いたい。

■事務局 この場所は22坪。食の拠点、行政窓口、女性活躍を推進する窓口を合わせてやっていきたい。残りのスペースは子育ての観点でキッズスペースや、セミナーをやるための大きなテーブルや小さめのテーブルを置きたい。そういったところを、高校生などが自由に入って活用していただければ良いと思う。また、バローは大幅に改装される予定で、今よりは高校生の居場所になるような場所もあるように感じるので、こちらの場所と合わせて使えるとよい。

■奥村委員 京都府の木津川市に娘が住んでいる。市役所から離れた場所に住宅地とイオンがあるが、木津川市の出張所がイオンの入ってすぐの場所にある。いつもとても賑わっている。転入、転出の手続きは本庁まで行かなければならないが、選挙の期日前投票所としても使われていて便利だと思ったので、そういう使用の方法も視野に入れていただきたい。

■事務局 視野に入れて検討したい。

■会長 バローは高校生の居場所になっている。フードコートで食事をして学習塾へ行く子も多い。フードコート前は時々イベントがあるが、日常は空いてしまっている。ああいった場所の一角が高校生が気楽にいられる場所になると良い。バローに拠点ができるのであれば、紀岡委員がおっしゃったような高校生の居場所づくりの役割も追加していただき

たい。

■紀岡委員 住民票の発行などは平日も対応するのか。

■事務局 平日も対応する。

■太田委員 資料の3. サービス内容の(1)窓口機能、(3)女性の活躍を推進する総合拠点は市職員が受けるのか。

■事務局 窓口機能は住民票、印鑑登録証明書の発行だけなので、合わせて行う。

■会長 (3)は色々なスキルを持っていないと大変だと思う。

■事務局 (3)は、吉田アドバイザーからご紹介いただいた美濃加茂市のリオラのようなものが目指すべきところと思っている。

■奥村委員 (2)食の拠点は、食生活改善推進員などを想定しているのか。イメージできない。

■事務局 農政課でたべる推進協議会というものが昨年の暮れに立ち上がった。食や農業など、食に携わる方が協議会をつくってアイデア出しなどをやっていた。そういったところからご意見をいただきながら、食の具体的な取り組みをこの場所を使ってやっていきたいと考えている。

■会長 美濃加茂市のリオラなど、委員会で現地視察できると良い。外の取り組みを見に行くことは勉強になるので、都合がつけばやっていただけるとありがたい。

■成瀬委員 外国人向けのパンフレットなどを置いていただきたいので、声をかけていただけるとありがたい。

■事務局 特にイベント情報なども、この場所を活用して発信していただけるとありがたいと思う。

■亀井委員 市役所だと敷居が高いし用事がないと行かない。こういう場所なら買い物のついでに行きやすい。それがまた口コミで広がっていくとよい。

■事務局 不特定多数の人が訪れて、気づいて意識していただけるというところも、この場所の存在意義になると思う。

また、名称について、今後は皆さんに親しみやすい愛称のようなものをつけたいと思っているが、まずは時間のないなかで条例制定の必要があるので市民活躍推進センターとしている。こんな名称が良いというのがあればご意見いただきたい。

■会長 市民活躍推進センター「愛称：〇〇」という形になるということですね。私達が呼ぶときは、愛称である〇〇へ行こうかということになるのですね。

■事務局 そうだ。

■亀井委員 愛称について公募すると、楽しい面白いものが出てくると思う。

■全委員 条例上はこれで良い。

■事務局 なお、今後この施設の運営にあたり、運営協議会を立ち上げたいと思う。つい

ては、運営協議会に男女共同参画プラン推進委員会から、会長になると思うが参加いただきたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

■会長 一人で良いか。

■事務局 今のところ一人と考えている。食の拠点もあわせてやっていくので、食の方からも出てもらい、各方面の市民に参加いただいて運営していきたいと考えている。また、お声がけさせていただくのでよろしくお願ひしたい。

■会長 頂いた議題は全て終了した。本日が最後の会議となるので、委員の皆様からひと言ずつご意見をいただいてから進行を事務局に返したい。

■紀岡委員 事業所からと家庭生活からと両方の視点を反映させながら、勉強になりましたし、少しでも関わられたというところでありがたかった。

■曾我委員 仕事の都合で2回しか参加できなかったが、自分なりの意見が言えたかと思う。

■伊東委員 男女雇用機会均等法ができてから30年以上経過しているし、女性活躍推進法が平成27年9月に施行されたところで、制度上は女性が活躍できる状況にあるが、昔からの風土や女性の立場からいうとなかなか活躍できないというところで、こういった委員会は意義があると思って参加をした。今の状態であると、男性女性に関わらず自然な形で活躍できるという状況になっていると思うので、女性の活躍を願って挨拶としたい。

■成瀬委員 今年4月から参加させてもらったが、ブレインストーミングの際には、改めて自分や家庭を顧みる機会になったのが良かった。国際交流という観点ではあまり意見が言えなかったかもしれないが、子どもを持つ女性の視点の意見を言えて良かった。

■奥村委員 この会議で、吉田アドバイザーと知り合いになれて良かった。大井町の子育てサロン大井カフェに来てもらい、11月に資料を配って説明していただいた。お母さん20人くらいはいたかと思うが、その場では皆さん、人の目もあるからなのか、ふんという感じだった。しかし、アンケートで意見を聞いたら、今はまだ子供が小さくて働けないけれどゆくゆくは働きたいと思っているので、こういう資料をもらったことで、今からちゃんと見ておきたいという意見を頂いて、来ていただいて良かったと感じた。そういう場所が、バローにできると、もっとお母さん達が行ける場所となり嬉しいと感じた。

■秋山委員 恵南商工会から企業代表ということで出させていただいた。会社の中で人事労務の仕事をやっている関係で、我が社に取り入れると良いという意見をたくさん出していただいて、非常に参考になった。

■村松委員 会議が重なって参加できない事が多々あったが、とても勉強になった。先日、二人目の孫が産まれて、娘のお婿さんが、家事・育児をお手伝いというかたちではなく、分担という感じでやっている。周りのお母さん達もそういう意識がすごくあって、女性も育児休業が終わったら社会に帰るのが当たり前だと話していた。そう思うと、まだまだ恵

那市はこれからかなというところもあるが、先ほどのお話ではないですが、教育委員会の立場として、子ども達にもそういう意識を小さいうちから植え付けていけるような人権教育ができるの良いと感じた。

■太田委員 色々な立場の方のお話を聞く機会があまりないので、とても良い時間でした。聞いたことを、私のもっているお母さん達のコミュニティに還元していきたいと思う。

■亀井委員 色々な分野の人達の意見が、色々な方面から聞けて良かった。私は男女共同参画の基本は家庭だと思っている。村松委員のお話では見本になるようなお嬢さんでしたが、私の娘のお嬢さんは全く真逆で、でも、それは育った環境によって違うので仕方ないと思っている。それでも、娘がたまにそういう事をこぼすときには、娘には息子が二人いるので、お父さんが反面教師ではないですが、男女関係なく、家事は家の中の仕事なので家族が協力してやっていくものだよという事を、母親としてしっかりと子供に伝えなさいと話をしてきた。孫たちが小中学校になったら、お父さんを見る目がだんだん厳しくなってきた、お父さんの居場所がなくなるのもダメだと思うのだけれど、子どもは言われて育つのではなくて、やっているのを見て育つというところを感じる。やはり、家庭教育は大事だなあと思った。

■伊藤副会長 戦後生まれの最も封建的な生活を最後に受けたような人間です。ここへ来て非常に目から鱗です。勉強になりました。

■会長 ありがとうございます。皆さんのご意見をいただきましたが、私もこのところずっと携わっているが、いつも新しい事が頭に入ってきます。やはり、男女共同参画は、住みやすい恵那市をつくるための基でもあるので、これからもどんどん皆さんとお会いできればやっていきたいと思っている。ありがとうございます。

■事務局 長時間にわたり、本当にご熱心なご議論をありがとうございました。今後の予定ですが、2月19日に会長及び副会長から市長へ女性活躍推進計画の答申を行いたいと考えております。それでは、平成30年8月27日より2年間という長きにわたり男女共同参画プラン推進委員会委員としてご尽力いただきまして誠にありがとうございました。皆さんから頂いた貴重なご意見を今後市政に反映していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、これにて本日の会議を終了させていただきますが、閉会の挨拶を伊藤副会長からお願いします。

5. 閉会のあいさつ

■伊藤副会長 本日はご苦労さまでした。2年間、こういった会議を開くことができたということが、皆さんのご協力のもとだと思っています。改訂版（素案）ができました。これを良いたたき台として、恵那市がもっと、恵那に来て良かった、恵那に住んで良かった、

恵那に嫁に来て良かったと、恵那で子どもを産んで良かったというものになっていけば、非常に良い事だと思いますので、今後とも、皆様のご協力、ご意見等を頂きたいと思えます。どうか、よろしくお願ひします。2年間ご苦勞様でした。

[閉 会]